

親と教師は何をなすべきか

教育講演会より



編集発行
羽津北小学校
PTA広報部
印刷
阿竹印刷工業㈱

第47号
平成4年12月22日発行



講演中の坂本先生

一〇月一八日
(田) 羽津北小学校
校体育館において、教育講演会
が開催されました。

講師として、
中央大学の坂本
光男先生をお招
きし、「今、親と
教師は何をなす
べきか？」と題
する講演を受け
ました。
話の概要は、

以下の通りです。

母親・父親・親と教師共同で心
掛けてほしいこと

第一に、母親に心掛けてほしい
ことの三点として、
①「明るく」子どもを励ましてほ
しい。子どもをしかつたり、励ま
そうとする時は、その子の良い面
を三つ以上知っていてほしい。

自分で目標を作らせることによ
り、「楽」をしたい心を自ら乗り越
えさせることが必要。最もタメな
ことは強制することだ。
子どもに仕事を与えて、「自立の
力」を養うことが重要だ。

②愛情について、どこかへ連れて
行くことや、何かを買い与える事
が愛情であるときえる傾向が強
い。物ではなく、心が伝わること
が愛情表現である。母親は、この
子を生んでよかった。父親は育て
てよかったと思う心を一年に二回
は伝えてほしい。

③「上手な聞き役」になってほし
い。子どもは真剣に聞いてくれる
と、一生懸命に話す。子どもと一
緒に喜び・悔しがり・淋しがるこ
とが「聞き上手」につながってい
くと思う。

第一に、父親に心掛けてほしい
こととして、

①近年の父親は大変忙しいが、家
庭に帰ってから、活力を失わない
でほしい。子どもは、父親から活
力を学ぶ。困難を乗り切ろうとす
る強さを見せることが必要である。

②子どもには、安心を与えてほし
い。思春期の「淋しい気持ち」を
支えるため、いつも子どもを見守
りつつつけている姿勢を示すことが
重要である。

③父親から「ほめる一言」が大事。



質問する参加者

父親から再度ほめられる事によ
り、子どもの中に自信が生まれて
くる。

最後に、親と教師が共同で心掛
けてほしいことについて、

①子どもの成績について、5段階
評価の見方として、5＝得意な科

広報部では、講演会に参加され
た皆様に、感想をひとこと書いて
頂きました。

共通して感じられたのは、とて
もわかりやすいお話で参加して、
本当によかったと皆様が声をそろ
えて言われている事です。

具体的にいくつか抜粋してみま
す。

○明るく励ますという事がいかに
大切かを実感しました。心がけて
いきたいと思えます。

○母として、自分の子供の良い所
が三つ以上言えますかという質問
には、ドキリとさせられました。

○子育てに手遅れはないという言
葉に勇気づけられました。子育て

アンケートより

目と位置つける。4—その努力を
大事にする。3—力があるが発揮
していない、特に力があることを
強調する。1・2—時間をかけれ
ば理解できる。早く理解するの
か、ゆっくり理解するのかが、その違い
である。

②先生や親は一緒になって励まし
合おう。みんなで助け合うことの
大切さを教えることも必要である。

③子育てに手遅れはない。大人の
方で決めつける事はできない。
子育ては、親が育つことだ。
親と先生が力を合わせて、子ど
ものために、良い学校を作ってほ
しい。

は親育て、本当にがんばってゆき
たいと思えました。

○ほく、お母さんの子に生まれて
きてよかった。この次生まれてく
る時もお父さん、お母さんの子と
して生まれてきたい。というお話
のところでは、思わず涙ぐんでし
まいました。今の自分はどうかろ
うとついつつ反省させられました。

など、皆様、今後の子育ての目
標ができた様子でした。

今回参加できなかった方も、ま
だいつか坂本先生のお話を聞く機
会がありましたら、その時には、せ
ひお話を聞いて頂きたいと思いま
した。感想を書いて下さった皆様、
本当にありがとうございました。

は親育て、本当にがんばってゆき
たいと思えました。

運動会の思い出

はじめてのうんどうかい

一年 まえだ あい

きょうはうんどうかいです。れんしゅうのときに、二つなのできらいになりました。でも、うんどうかいは二つなので、すきになりました。

一年 しの田 ようじ

うんどうかいで、一とつをとれなかつたので、かなしかつたです。でも、大だまころがしで一とつをとれたから、うれしかつたです。



一年 みむら ゆか

大だまころがしは、一とつだけ、うれしかつたよ。だつて、れんしゅうのときは、二つだけだもんね。

一等をとつた80M走

三年 伊藤 雄右

ぼくは、80M走をすつとまっていた。なんでかと言つと、すつとトキドキしていたので早くすましたかつたからだ。やつとおまぢかねの80M走がやつてきた。6年か5年の人が、

「いちについて。よいいパン。」
「ピストルがなつた。ぼくは、フライングをしたようだ。だけど、

「ノーイドン。」といつたときは、自分のからだがおかしくなつたのがわかつた。ゴールの近くで二タ二タわらいながら走つた。ぬかさねうになつたけど、なんとかいいになつた。とてもうれしかつた。もうおかあさんやおとうさんにじまへして、
「いいになつた。」
と、笑顔でいつた。

いになつた学年リレー

三年 いとう 友里子

次は、わたしの走る番。ちよつとうしろにさがつてバトンをもちつた。

カーブめがけて走つた。でも白チームにぬかさされた。でもゴールの方でぬかした。さがだいぶつた。次は、いづみちゃん走る番。応援した。

「いづみちゃんガンバレ。」
そうしたらいづみちゃん、ぬか

されそうだったんだけど、おいぬかした。次は、さやかちゃんに応援した。

「さやかちゃんガンバレ。」

みんなもさやかちゃんには、きあいをいれていた。さやかちゃんは、どんどんぬかした。さい後に赤は勝つた。練習の時、すつと一いをとつていたから、これだけは、じしんがあつて走つた。ほうそうがなつた。

「これで二年生によるリレーはあります。」

気持ちはずばりしていた。



お祭りになつた

四年 川村 やすみ

九月二十三日、運動会があつて、一番楽しいのは、ダンスです。

やつと、ダンスの時がやつてきました。トキドキして、ならびのになちよつと時間がかりました。自分の場所について、おどりました。まぢがえないように、し



んけんになりました。

アンテナは、練習より、うまくなつていました。アンテナをしている時に、はく手をしてくれました。ブリッジの時も、はく手をしてくれました。また一番にもどつて、小さいほうの女子が、わたしたちのほうを向いて、おどりをしていました。わたしが見ていたのは、かよちゃんです。前にいて、かよちゃんが、わらつたから、わたしもわらいました。

すわるところが、まぢがえさずできてよかつた。と中で、ハチマキがとれそうでした。ブリッジの時にとれたみたいです。でも、すわつた時に、なおしてしまいました。先生が、ほつとけと言つたのに、なおしてしまいました。集るまで、もつたのでよかつた。

最後に「ヤーツ」で、言つて、ふえがなつて、ならんで、たい場して、自分の席について、よかつた。いい運動会でした。

運動会の組立体そう

六年 斉藤 一樹

運動会の最後の種目、組立体そうが始まる時、すく緊張した。ならんでかけ足をして前に行つてかけ足をとめ、きをつけをして、前を見たら前に校長先生がいて、ぼくは思った。「これは、絶対にまぢがえたらあかん。」

ぼくが一番心配していたことは、ブリッジで、ぼくは三回目だった。三回目の笛がなつて、四回目の笛もなつた。ブリッジは完成した。それから、波、トミン、ノギリは終わった。そして組立ての最後の決め手、羽津北タワーを完成した時は、く手が聞こえた。「やつたあ。」と思つた。



楽しかった自然教室

五年 細見万里子

少年自然の家に着いた時、思ったよりきれいな所だったのうれしかったです。そして、大きい荷物だけ置いてハイキングに行きました。途中、きれいな池があつてとんぼが卵を産んでいました。

私は、とんぼが卵を産んでいるところを初めて見たので、感激しました。それからとんぼ歩いていって、足見田神社に着きました。そして、人数を確認してから、お昼ご飯になりました。そこで私は、はつと気が付きました。お弁当を一緒に食べる子を決めていなかったので、みほちゃんよりちゃんとしたので、みほちゃんよりちゃんとしてご飯を食べることにしました。そして、人数を確認してから、お昼ご飯になりました。そこで私は、はつと気が付きました。お弁当を一緒に食べる子を決めていなかったので、みほちゃんよりちゃんとしたので、みほちゃんよりちゃんとしてご飯を食べることにしました。

「ひえー」とか「すーい」とか言つてびっくりしていたらみんなや先生達も集まってきました。「つわーつ」とか「本当に食べれるの？」とか言っていました。そして、お弁当を食べ始めたら、校長先生が、「梅ぼしちやうだい。」とて言つてきました。それでみほ

ちゃんが一番大きいのをすきました。そして先生はすごく喜んでいました。これは後で聞いた話ですが、校長先生はけいぞう君達の所に行つて、梅ぼしを自慢していたと言つたことです。それだけ梅ぼしが好きなんだなと思ひました。それから古市先生が来て、みほちゃんのお弁当を見て、「感動したよ」と言つたので私は、笑つてしまいました。ご飯を食べて少ししてから、童子池をさがしに山に登りました。途中でおなか痛くなつてきたのであきらめて下りました。それから牧場に行つたりしました。



一日目で一番楽しかったのは山歩きでした。班行動で古市先生とも、半分くらいまで一緒に行きました。古市先生はくりの木を見つけて「そつだくりひろいをしなから行こう。」と言つたので、みんな「くり、くり、栗。」とひろいながら行きました。すくく急な上り坂だったので疲れまし

た。そしてやつと展望広場に到着しました。そこでまわりの景色を見たら、けつこう晴れていたのきれいでした。それで少し休んでから、また歩き出しました。先生が、「みんなが行かない方の道に行こう。」と言つて、上り坂を選んだので、また疲れしました。「みんなが行かない道」と言つて行つたけど、後ろからちやうど班がついてきたので「私達だけ」というわけにはいきませんでした。少し歩いて、つどいの広場により展望広場にもどつて、古市先生と別れました。そこから少し下り坂だったので、あまり疲れなかつたです。その道を少し行つたところに、やまなみの広場があつて、そこでこれからどの道を通るかという計画を立てました。ここくれの道を通つて観察の広場で弁当を食べる予定でしたが、途中で曲がる道をわからずに通り過ぎてしまつて広い車の道に出てしまいました。それから、みんな道順を話し合いながらやつと展望広場に着きました。でも時間がなかつたので、おにぎりを手に持つて食べながらありて行きました。ぎりぎり間に合つて、人数確認をしてすわっていました。「間に合つてよかつたあ」と思ひました。それから毛布の点検などをして、バスに乗つて帰りました。友達と一日じゆう一緒にいられて、時間を忘れてしまひそうなくらい、とてもおもしろくて楽しい一日間でした。

早く大きな一れ!

なえつえ(10月3日)

今年度から始まつた「生活科」の学習を豊かにするために、校内環境の整備が進められています。中庭の池には、浄化装置がつき、学級園は、土が入れられてきちんと区分けされました。各学年が、いろいろな作物を育て収穫を楽しんでいきます。



観察ノートから

<p>キャベツ 久志本 佳奈</p> <p>ブロッコリーとにている。はっぱがちよつと黄色くなつてくる。くきがちよつとくちやつとしてくる。</p>	<p>玉ねぎ 館 奈緒香</p> <p>少しかわが土から見えてるよ。玉ねぎのはっぱにちかづくくと玉ねぎのかわがすく。くるくる玉ねぎのかわがうすまつてる。玉ねぎの先が、つんつんになつてくる。はっぱが光つたりおれたりしている。</p>	<p>ホウレンソウ 旭 瞳子</p> <p>ねぎみたいなのにほくつて、めがでるのをはじめて見たから、どれがどれだか分からなかつた。</p>	<p>あおむし 内田 安南</p> <p>あおむしがキャベツやブロッコリーのはっぱを食べていて、たまごまでうんでいました。</p>	<p>あおむし 里み</p> <p>ブロッコリーは、あながあいていて、よく食べるんだね。</p>
---	--	--	--	---

陶芸教室について

荒木 順子

昨年好評でした陶芸教室を、今年も引き続き、十一月八日(日)に、開催致しました。

今年は雑炊鍋セット(鍋、スプ、皿、スプーン)に、絵付けと言う事で、四日市萬古焼陶芸センター館長新田先生と、陶芸家市川先生を講師としてお迎えし、実施致しました。

幸い天候にも恵まれ、当日参加人数も百十七名と多数参加して頂き、校長先生をはじめ六名の先生方、小さい子供さん連れの御家族そして、友達同志と、暖かい雰囲気の中で楽しく絵付けの作業にかりました。直接鉛筆で下絵を書き、その上から色づけをします。色がすく、しみ込んでしまうので



ちよつと、ぬりにくかったと思えます。でも皆さん、みごとなおきばえでした。特にお父さんは、真剣に描いてみえて印象的でした。

家族で助け合いながら作業をしてみえる姿も素敵でした。陶芸教室の目的である「親と子のふれ合いの場」そのもので、充分目的を達せられたと思います。最後に、

参加いただいた皆様、アンケートを一部ご紹介させて頂きます。
○親子で、楽しく出来ました。
○絵付けする物がたくさんあって良かった。
○小さな子供も楽しんで色をぬれて良かった。
○絵付けだけの企画も、たっぷり時間が使えて良かった。
○家族で楽しく参加できて良かったです。

○安い値段で自分のオリジナルの器ができて良かった。
○来年も、ぜひ参加したい。
○色の種類が、もう少し多いと良かった。
○役員の方々、ほんとうにご苦労様でした。とたくさんの方々が書いて下さいました。役員一行行き届かなかつた点もあつたと思いますが、何よりの言葉で、感激しております。来年に向けて、皆様に喜んでいただける企画で、活動をして行きたいと思えます。

〈給食人気メニューの紹介〉

今回は、数多くの給食の中から、子供達に人気の、この二品を選んでみました。

かぼちゃスープ

(材料)ー(数量は一人分)	g
○かぼちゃ	40
○たまねぎ	10
○油	1
○クリームシチュウの素	10
○チキンブイヨン	1
○牛乳	20
○生クリーム	5
○塩・こしょう	少々
○魚クラッカー	1.5

(作り方)

1. 玉ねぎをいため、ブイヨンで煮込んでおく。
2. かぼちゃを蒸して皮をむき、うらごしをする。
3. ホワイトソースを作り、1. 2 を入れる。
4. 生クリーンを入れ、塩・こしょうで味をととのえる。

とりレバーノルウェー風

(材料)ー(数量は一人分)	g
○とりレバー	25
○片栗粉	3
○小麦粉	2
○油	3
○トマトケチャップ	5
○ウスターソース	4
○さとう	2
○赤ワイン	1

(作り方)

1. レバーに熱湯をかけ血ぬきする。
2. 片栗粉、小麦粉をまぶしてからりとあげる。
3. 作ったタレをからませる。

ぜひ、この栄養価の高い献立を、御家庭でもお試しになってみてはいかがでしょうか。

親と教師の語る会

9月5日(土)羽津北小にて、羽津中、羽津小、羽津北小、三校合同で「親と教師の語る会」が開催されました。今年度は、愛知県電話相談室カウンセラーの河村江里子先生をお招きし、「豊かな未来を子供たちと」のテーマで講演会が行われました。



子供たちが抱えている、様々な問題の相談にのつてみえる先生な

ので、いろいろな事例をあげて話しをしていただきました。その中で、子供に何か問題が起こつた時、一番原因になるのは、困っている人自身が原因なので、自分自身に原因がある場合、他人はかえられないけれど、自分は心がけ次第でかえられます。という話しが印象的でした。又、講演会が終わってからグループに分かれ、お父さん、お母さん、先生、それぞれの立場で子育てについてや、講演会の感想など話し合いました。

前号の八ページで紹介しました「地区委員会」は「町委員会」の誤りでした。おわびして、訂正します。

編集後記

師走も押し迫り、年の瀬の慌ただしさを感ずる時期となりました。一年を回顧するには編集作業も楽しいものです。

今年の思い出を、いっしょに子どもと一緒に話が出来るといいかな。来年もよろしくお願ひします。

本年度広報部員

- | | | | | |
|------|----|----|----|----|
| 弥代江子 | 美み | 弓子 | 子り | 苗 |
| 一和 | 敬由 | と真 | 広朋 | 美ど |
| 村昌 | 藤田 | 野ひ | 合田 | 久み |
| 川森 | 安松 | 出牧 | 川栗 | 赤佐 |
| 伊藤 | 早苗 | 子節 | み | |
| 堀前 | 田谷 | さと | | |
| 水谷 | | | | |
- 以上P側
以上T側